

令和2年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
重点プロジェクト		次代を担う子どもを育むプロジェクト		
主管課	教育部 社会教育課	評価責任者	皆川 恒晴	
関連課	子育て支援課	評価日	令和3年6月2日	
目標	社会教育施設は、市民の学習活動の拠点として市民の学びを支え、地域のコミュニティ形成、学習機会の充実を図ります。放課後の子どもたちの安全と安心な居場所づくりに向けて、放課後子ども事業の活動を充実します。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 社会教育活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の課題などを解決するための学習支援や学習の場を提供します。 ○市民の自主的な文化活動の発表の場、交流の場としての各種事業の充実を図ります。 ○生涯学習を推進するため、地域の課題の講座などを開催し、地域に還元できる仕組みを支援します。 ○社会教育関係団体の支援・育成を推進します。 <p>(2) 放課後子ども事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○放課後子ども総合プランに基づき、地域の協力の下、放課後児童クラブとの連携を進めます。 			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	図書貸出人数					
		説明	図書館の延べ貸出人数。市民ニーズに対応した施設サービスを提供する指標となるため。新型コロナウイルス感染拡大防止措置による休館及び利用制限のため、令和2年度図書貸出人数が減少した。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	243,000	246,000	249,000	252,000	255,000	258,000
		実績値	229,628	214,973	171,461			
	指標 2	指標名	公民館利用者数					
		説明	公民館利用者延べ人数。市民ニーズに対応した施設サービスを提供する指標となるため。新型コロナウイルス感染拡大防止措置による休館及び利用制限のため、令和2年度公民館利用者数が減少した。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	282,400	285,800	289,300	292,900	296,400	300,000
		実績値	275,102	253,639	66,325			
	指標 3	指標名	資料館入館者数					
		説明	資料館の展示などの入館者数の延べ人数。市民の歴史文化に対する周知や意識の高揚を図る指標となるため。新型コロナウイルス感染拡大防止措置による休館及び利用制限のため、令和2年度資料館入館者数が減少した。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
		実績値	16,287	14,963	12,673			
	指標 4	指標名						
		説明						
単位								
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	293,119	266,413	385,211	364,051		
	人件費	163,503	150,048	149,329	148,043		
収入	特定財源	29,503	2,932	5,849	11,959		
	一般財源	427,119	413,529	528,691	500,135		

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	高齢者大学事業運営委員会の開催	「ふじみ野市昭和100年大学」の運営及び適正化を図るため、各学部学科から正副学科長2名を選出し14名で運営委員会を開催した。 大井中央公民館 1学部2学科 上福岡公民館 1学部3学科 上福岡西公民館 1学部2学科	ふじみ野市昭和100年大学運営委員会設置要領に基づき運営委員会を2回開催し、実施運営・事業計画・全体計画について意見交換を行うことができた。	大井中央公民館高齢者教育事業 上福岡公民館高齢者教育事業 上福岡西公民館高齢者教育事業
取組②	市民の自主的活動の支援	にほんご教室は、平成6年にスタート。日本人スタッフ（ボランティア）の自主学习による内部研修が毎年開催されている。公民館では活動を支援するためのボランティア講座を開催している。	にほんご教室 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、中止。 ボランティア講座 令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止。	上福岡西公民館成人教育事業の一部
取組③	小学校放課後事業推進検討会	集団による密を避けることと、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から放課後子ども教室を中止としたため、「学校、放課後子ども教室、放課後児童クラブ」（3者）による「小学校放課後事業推進検討会」も中止とした。	例年、小学校放課後事業推進検討会の方針に基づき各校プログラムを作成し、放課後子ども教室、放課後児童クラブが一体化した活動を行っていたが、放課後子ども教室を中止としたため、活動できなかった。	放課後子ども教室推進事業
取組④	図書館ボランティア育成講座の開催	幼稚園や小学校で集団の子どもたちに絵本の読み聞かせをされている方を対象に、初級読み聞かせ講座を開催した。 期間 12月全3回	合計13名の参加があった。各講座を通して幼稚園・小学校で読み聞かせ活動をしている方々を育成し、地域での読み聞かせ活動の活発化と図書館資料の利用促進を図ることができた。	図書館事業の一部
取組⑤	市民と関連団体との協働	文化財ウォーキング、福岡河岸記念館での解説事業、郷土の伝承遊びや社会科体験学習、小中学校出前講座、子ども及び成人対象体験学習、学校文化財展示室開設等において、ボランティアとの協働事業を開催した。	ボランティアのアイデアによる企画や各種事業への協力、関連団体との協働の体制づくりに貢献した。また、市民が文化財と触れ合う機会につながった。	歴史民俗資料館教育普及事業の一部

5. 評価

評価	
指標の達成状況	社会教育活動の支援について、超高齢化社会に対応した学習の場と学び続けることができる学習環境づくりなどが喫緊の課題である中、令和2年度は公民館高齢者大学の各学部学科の正副学科長からなる運営委員会を開催し、公民館3館で運営及び適正化を図る支援ができた。 また、市民の学習ニーズや課題解決等を支援するため、ボランティア講座の開催、体験活動の機会提供を行なった。 実施している個々の事業は学びを通じたひとづくりなどその成果をすぐに評価することは難しいものが多いが、誰もがいつでもどこでも学ぶことが出来るよう、さらに社会教育の推進、充実を図っていく。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	教育委員会への建議（計画、答申、調査報告）件数		
	説明	地域課題や市民の社会的課題に対する生涯学習・社会教育の役割について、諮問答申、調査報告など教育委員会に助言を行い、行政施策の方針策定の土台とする。		
活動	単位	件		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	1	1	1
	実績値	1	0	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>これからの人生100年時代には、「高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、全ての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくる必要」が求められている。その重要な鍵を握るのは地域課題解決学習であり、誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その学びの成果を個人の生活や地域での活動等に活かすことのできる仕組みの充実が必要である。今後、人口減少など社会の大きな変化の中にあつて、住民の主体的な参画による持続可能な社会づくり、地域づくりに向けて、生涯学習や社会教育活動はこれまで以上に役割を果たすことが期待されている。</p> <p>当該事業については、地域や市民の現代的課題を社会教育委員の視点で捉え、課題解決に向けた学習機会の提供や、地域貢献活動につながる人材育成等の調査・研究、提言等活動を通し、社会教育行政の活性化と地域の教育力の向上を図っている。実施内容及び効果については次のとおり。</p>
	<p>実施内容</p> <p>(1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。 (2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。 (3) 職務を行うために必要な研究調査を行うこと。</p> <p>効果</p> <p>① 行政と市民のパイプ（橋渡し）的役割となることで住民の意向を行政の施策運営へと反映することができる。 ② 家庭・学校・地域をつなぐコーディネートの役割が果たせる。 ③ 家庭や地域の教育力向上のための直接的な貢献ができる。 ④ 地域での社会教育活動活性化のためのネットワークづくりを形成できる。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	地域社会のつながりや支え合いの希薄化等による地域社会の教育力の低下や家庭教育の必要性が指摘されており、学校・家庭・地域との連携・協働が今後より一層求められる。社会教育委員の活動は、地域や市民の現代的課題を把握し、生涯学習・社会教育行政の施策に反映させる事業展開を図ることであり、今後も会議の内容や実施時期また、勉強会等の企画を充実させながら効率的かつ活発な社会教育活動を推進していく必要がある。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	放課後子ども教室推進事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	次代を担う子どもを育むプロジェクト			
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費			
所管部課	教育部 社会教育課	評価責任者	永倉秀雄	
事務事業期間	平成21年度～	評価日	令和3年4月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	埼玉県放課後子供教室推進事業実施要綱 ふじみ野市放課後子ども教室事業実施要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	国が推進する「新・放課後子ども総合プラン」の一環として、学校施設を活用し、放課後の子どもたちの安全かつ安心な居場所を確保し、地域の人々の参画を得るなかで、子どもたちが学習、交流、体験等の活動を通し、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
	事務事業の経緯	国と県が推進する「放課後子供教室推進事業」を受け、本市においては平成21年度より開設した。平成21年度開設：西原、東台・平成22年度：さぎの森・平成23年度：駒西、三角・平成24年度：元福、東原・平成25年度：大井、西・平成26年度：亀久保、福岡・平成27年度：上野台、鶴ヶ丘		
	事務事業の概要	市内すべての小学生を対象として、放課後に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々が指導者として参画することで、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動を通して、地域住民との交流活動の取組みを推進する。 市内各小学校で毎週1回実施している。		
	令和2年度の主な取組	新型コロナウイルス感染拡大防止と指導員の安全確保のために、今年度の放課後子ども教室を中止した。教室を中止したことにより、県補助金は申請することができなかった。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.90	1.06	1.24
		人件費	7,181	8,541	9,991
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.89	0.89	0.89
	人件費	1,574	2,150	2,430	
人件費計		8,755	10,691	12,421	
事業費	報酬※	96	1,543	1,831	
	賃金※	1,544	0	0	
	需用費	899	322	1,018	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	8,451	897	12,000		
支出合計		18,171	11,302	24,840	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	6,897
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	1,176
一般財源		18,171	11,302	16,767	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		159	97	146	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	参加率		
	説明	登録児童の教室参加率		
活動	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	100.00	100.00	100.00
	実績値	88.95	0.00	
指標 2	指標名	登録人数		
	説明	参加登録人数の把握 令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各教室の定員を見直したため、目標値も定員に合わせて見直した。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	725	650	650
	実績値	566	0	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>放課後子ども教室は、厚生労働省・文部科学省合同の「新・放課後子ども総合プラン」の一環であり、全ての子どもたちの放課後における地域の子どもの安全かつ安心な活動の場（「居場所」）を確保し、地域住民の協力と参画を得て、さまざまな体験、交流、学習等の活動の機会を提供することによって、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的としている。</p> <p>これを踏まえて本市では、平成21年度より小学校区の全児童（1～6年生）を対象に、放課後子ども教室を実施している。</p> <p>この事業は、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくり確保するとともに、学校、地域、家庭が連携した取組としても必要性が高いものと評価されている。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止と指導員の安全確保のために、令和2年度は、事業を中止した。</p> <p>その他の実施内容</p> <p>(1) 令和2年度の反省と令和3年度の教室実施に向けて指導員会議を2回実施した。</p> <p>(2) 放課後子ども教室の活動内容が分からないという意見を踏まえ、YouTube内に放課後子ども教室の活動内容が伝わるようなPR動画を作成し、市ホームページ上にリンクを掲載。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>全ての就学児童が放課後等をより安全・安心に過ごしながら多様な体験・活動を行うこと、並びに放課後子ども教室と放課後児童クラブを一体的に実施することを達成するため、より円滑で継続的な教室の運営に向けた取組を進めていく。</p> <p>また、平成30年9月14日文科生第396号通知「新・放課後子ども総合プラン」により、令和元年度から向こう5年間を対象とする新たなプランが策定された。</p>
中長期的方向性	<p>これに伴い、教育委員会と福祉部局の更なる連携体制の確立並びに特別な配慮を必要とする児童への対応に関する方策や、安全・安心な教室運営の視点から運営方法の最適化も視野に入れ、一層の拡充を図らなくてはならない。</p>
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		成人式事業	前年度の方向性 縮小	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費		
所管部課		教育部 社会教育課	評価責任者	永倉秀雄
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和3年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等		国民の祝日に関する法律		
事務事業の内容	事務事業の目的	成人式は、成人となった青年の新しい門出を祝福して、成人としての自覚を促すとともに、家族や友人達との絆を再認識し、また将来に向けて大きく成長してほしいことを願う大切な行事である。		
	事務事業の経緯	昭和23年に国民の祝日に関する法律が施行され、第2条で「成人の日」として大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことが定められた。全国的に成人に達した人を祝う式典として開催されている。		
	事務事業の概要	成人に達した青年男女の新しい門出を大きな単位で喜びを分かち合い、祝福し祈念する厳粛であたたかさのある成人式典を実施する。また、中学校時代の恩師を来賓に招くことで、成人としての意識を深める。		
	令和2年度の主な取組	緊急事態宣言が発令されたことにより、急遽、式典内容を大幅に変更して開催した。 令和3年ふじみ野市成人式 令和3年1月11日（月） 成人の日 実施 【当日プログラム】 ふじみ野市長のメッセージ、二十歳のメッセージ（午前・午後の部、各2名）、祝電披露 【対象者数】 午前の部（西地区：425人） 午後の部（東地区：346人） 総合計 771人		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.40	0.82
		人件費	3,192	3,223	6,607
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,192	3,223	6,607	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	103	280	122	
	委託料	0	3,402	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	118	1,124	134		
支出合計		3,412	8,029	6,863	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	944	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,412	7,085	6,863	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		30	61	60	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	式典出席者数		
	説明	成人式への参加しての満足度としたいが、把握困難であるため出席者数とした。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	1,128	1,310	1,352
	実績値	830	771	
指標 2	指標名	式典出席率		
	説明	成人式への参加しての満足度としたいが、把握困難であるため参加率とした。実情に合わせ、目標値を見直したため、令和2年度と比較し、令和3年度の目標値が減少となった。		
活動	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	100.00	100.00	100.00
	実績値	65.15	56.40	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>成人に達した青年の門出を市民全体で祝い励ますとともに、新成人に対して主体的に行動するふじみ野市民としての自覚と今後の積極的な社会参加を促し、夢と希望と活力あふれる未来のふじみ野を創造するため、成人式を実施する。</p> <p>成人式は中学校時代の同級生が同じ場所に集うということで、疎遠になってしまった旧友と再会する機会を提供し、同時に成人となった青年の新しい門出を祝福すること、また、家族や友人達との絆を再認識し、将来に向けて大きく成長してほしいとすることを願う大切な式典である。</p> <p>本市では、成人の代表者に「二十歳のメッセージ」をとって、これまで育てていただいた方々への感謝の気持ちや成人としての自覚や決意を披露していただき、多くの仲間と共感する場を提供している。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、会場、式典内容を見直し実施した。</p> <p>11月に開催通知を発送したが、開催直前に緊急事態宣言が発令されたことにより、会場及び内容を変更して開催することとしたため、再度開催通知を発送した。</p>
	<p>内容【プログラム】</p> <p>司会：市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BGM：小・中学校校歌 ・主催者あいさつ（ふじみ野市長） ・二十歳のメッセージ（午前・午後の部とも各2名） ・祝電（埼玉県知事、他） <p>招待状発送者数 1回目（封書）：1,368通 2回目（葉書）：1,374通</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	活気あふれる新成人の門出を祝福するにあたり、成人の声を取り入れた新成人のための成人式となるよう実行委員会形式で事業実施することも視野に入れ、事業の効率化をさらに図るとともに、開催日や会場、進め方の調査、研究を行う。また、成年年齢の引き下げ後においても、成人式の対象年齢を引き続き「20歳」とするが、式典の名称については検討を進める。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		社会教育関係団体育成事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費			
所管部課		教育部 社会教育課		評価責任者	永倉秀雄
事務事業期間		平成17年～		評価日	令和3年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市社会教育関係団体補助金交付要綱、社会教育法第10条			
事務事業の内容	事務事業の目的	社会教育法第10条に規定する社会教育関係団体の健全な育成及び社会教育の振興による市民文化の醸成を図る。			
	事務事業の経緯	合併前の上福岡市教育委員会では、平成15年度に「上福岡市社会教育関係団体補助金交付要綱」と「上福岡市教育委員会の後援等の承認に関する要綱」を定め、事業を推進してきた。合併後は「ふじみ野市社会教育関係団体補助金交付要綱」に基づき事業を推進している。平成27年度からPTA連合会補助金は学校教育課へ移管となった。			
	事務事業の概要	市内社会教育関係団体を統括する文化団体連合会に対し、補助金を交付し、取組を奨励している。			
	令和2年度の主な取組	補助金の申請については、本市の社会教育委員会議にて審議を受けた上で交付を行っている。 令和2年度については、緊急事態宣言の発令により、公共施設が休館となり、活動が制限される状況等の理由で文化団体連合会より補助金申請を行わない旨の申し出があった。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.40	0.18
		人件費	3,192	3,223	1,451
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,192	3,223	1,451	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	81	0	338	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	1		
支出合計		3,273	3,223	1,790	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,273	3,223	1,790	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		29	28	16	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	文化団体連合会主催事業参加者数		
	説明	文化フォーラム事業の市民参加者。なお、実績値については、令和元年度文化フォーラムが、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、中止としたことによるものである。令和2年度においても、緊急事態宣言が発令されたことにより活動を自粛し、文化フォーラム等を実施しなかったことによる。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	550	550	550
	実績値	0	0	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>市の社会教育の振興に大きく貢献している社会教育関係団体の組織及び事業の充実、発展を図るうえで、今後も当該団体の自主的活動を支援することで、より社会教育を充実させたまちづくりの推進を図る。</p> <p>団体名 ふじみ野市文化団体連合会</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>社会教育関係団体の健全な育成及び社会教育の振興による市民文化の醸成を図るため、その「統括団体」に対し、補助金を交付している。しかし、統括団体の高齢化、活動の固定化や会員減少などの課題がある中で、どのように支援をしていくかが大きな課題となっている。</p> <p>また、社会教育の役割として地域課題の解決に資する学びや団体の育成が課題になっていることから、補助制度の在り方についても検討していく必要がある。</p>
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	大井中央公民館管理運営事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課	教育部 大井中央公民館	評価責任者	内田徳子	
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和3年4月22日	
個別計画 根拠法令・条例等	社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	地域の拠点施設として広く開放し、社会教育の発展と推進を図るとともに安全な施設提供を目的とする。		
	事務事業の経緯	社会教育法に基づき教育活動を実施する上で、安心して学習できる施設の提供を行うため管理運営に努める。		
	事務事業の概要	社会教育法第20条及び第21条第1項の規定に基づき公民館を運営すると共に、地域の拠点とし活用するため、施設の維持管理と運営を行う。		
	令和2年度の主な取組	<p>【公民館運営審議会の開催】</p> <p>社会教育法第29条及びふじみ野市公民館条例第12条の規定に基づき、ふじみ野市公民館運営審議会を設置し、館長の諮問に応じ、公民館運営及び各種事業の企画実施に係る審議を行っている。</p> <p>令和2年度は3回開催（令和2年7月14日、10月22日、令和3年3月25日） ※令和3年2月9日は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う国の緊急事態宣言発出期間のため、中止（書面による意見収集を実施）。</p>		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	1.00
		人件費	7,978	8,057
	再任用職員	従事人数(人)	0.80	0.50
		人件費	3,076	2,651
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	4.06	2.72
	人件費	4,927	4,150	
	人件費計	15,981	14,858	15,801
事業費	報酬※	266	3,790	4,262
	賃金※	3,799	0	0
	需用費	13,513	10,144	1,075
	委託料	21,988	23,454	1,103
	使用料及び賃借料	540	389	405
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	64	65	65
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	1,012	1,711	1,629	
	支出合計	52,235	50,261	19,247
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	647	1,667
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	680	591
	一般財源	50,908	48,003	18,642
	市民1人あたりの負担コスト(単位：円)	445	413	163

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公民館利用者延べ人数		
	説明	公民館を利用した延人数。公民館活動や事業など公民館が市民の活動の場となっているかの指標。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策により施設の臨時休館、利用制限を行ったことで、大幅な利用者数の減少となった。なお、令和3年度は建て替え工事のため休館予定。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	113,400	114,800	0
	実績値	94,304	19,875	
指標 2	指標名	公民館施設(研修棟)の利用率		
	説明	施設が有効に利用されているかの指標。 (利用区分数) ÷ (利用可能区分数) × 100 なお、令和3年度は建て替え工事のため休館予定。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	43.00	43.00	0.00
	実績値	35.90	24.80	
指標 3	指標名	公民館施設(ホール)の利用率		
	説明	施設が有効に利用されているかの指標。 (利用区分数) ÷ (利用可能区分数) × 100 なお、令和3年度は建て替え工事のため休館予定。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	25.00	25.00	0.00
	実績値	8.00	3.60	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【公民館運営審議会の開催】 令和2年度については、ふじみ野市公民館運営審議会を年3回開催した。</p> <p>●各回の開催日と主な議題</p> <p>第1回 令和2年7月14日開催 ・公民館事業進捗状況について／・ふじみ野市立公民館条例の一部を改正する条例について／・新型コロナウイルス感染拡大防止対象に係るふじみ野市立公民館の運用と方針について</p> <p>第2回 令和2年10月22日開催 ・公民館事業進捗状況について／・大井中央公民館建替えに伴う休館中の利用可能施設説明会について／・今後の公民館事業運営のあり方について</p> <p>第3回 令和3年2月9日中止のため書面決議 ・ふじみ野市立公民館条例施行規則の一部を改正することについて／・(仮称)西地域文化施設等について</p> <p>第4回 令和3年3月25日開催 ・令和2年度ふじみ野市立公民館事業(下半年)進捗状況と取り組みについて／・令和3年度ふじみ野市立公民館事業計画について</p> <p>【修繕】 利用者が安心して学習できる施設を提供するため、修繕を実施。</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
完了	大井中央公民館建替えに伴い、施設が稼働できる令和3年2月末まで、社会教育法に基づき公民館を運営し、施設の維持管理を無事に行うことができた。
中長期的方向性	
完了	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	大井中央公民館分館管理事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課	教育部 大井中央公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間	平成17年度～		評価日	令和3年4月22日
個別計画 根拠法令・条例等	社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	分館の維持管理を行ない、社会教育施設として活動の場を提供することを目的とする。		
	事務事業の経緯	地域に根ざした社会教育活動を実施するため、分館長を中心に施設の管理運営に努める。		
	事務事業の概要	大井中央公民館の分館施設の維持管理運営を行なう。		
	令和2年度の主な取組	【分館長会議】年1回開催（新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、2回目以降は、会議を開催せず個別対応） 令和2年7月15日開催 令和2年度分館委託金について 他		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.33	0.70	0.50
		人件費	2,633	5,640	4,029
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.50	0.50
		人件費	769	2,651	2,651
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	3,402	8,291	6,680	
事業費	報酬※	648	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	2,884	2,590	3,675	
	委託料	2,858	2,950	3,282	
	使用料及び賃借料	1,295	1,295	1,332	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	384	772	773		
	支出合計	11,471	15,898	15,742	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	766	766
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	140	0	0
	一般財源	11,331	15,132	14,976	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		99	130	131	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	分館利用者数		
	説明	分館を利用した延人数。分館が市民の活動の場となっているかの指標。 令和2年度は、上福岡公民館の大規模改修により利用者増が見込まれた一方、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により施設の臨時休館、利用制限を行ったことで、大幅な利用者数の減少となった。 令和3年度は、大井中央公民館の建替えによる利用者増が予想される。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	74,500	78,000	80,000
	実績値	72,641	24,460	
指標 2	指標名	分館施設利用率		
	説明	地域の公民館分館がどれだけ有効に利用されているかの指標。 ((利用区分数) ÷ (利用可能区分数)) × 100 令和2年度は、上福岡公民館の大規模改修により利用率増が見込まれた一方、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により施設の臨時休館、利用制限を行ったことで、大幅な利用率の減少となった。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0.00	40.00	40.00
	実績値	30.60	19.70	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	地域に根ざした社会教育活動を実施するため、分館長を中心に施設の管理運営につとめ、分館利用者に向けた施設の提供をした。																																																					
	<p>■令和2年度分館利用状況 (令和3年3月末現在)</p> <p>(1)分館の年間利用件数 合計 2,269件</p> <p>(2)分館の年間利用人数 合計 24,460人</p> <p>(内訳)</p> <table border="0"> <tr><td>①旭分館</td><td>77件</td><td>440人</td></tr> <tr><td>②大井分館</td><td>131件</td><td>1,672人</td></tr> <tr><td>③苗間分館</td><td>144件</td><td>1,861人</td></tr> <tr><td>④亀久保分館</td><td>211件</td><td>1,631人</td></tr> <tr><td>⑤鶴ヶ岡分館</td><td>283件</td><td>3,514人</td></tr> <tr><td>⑥三角分館</td><td>10件</td><td>150人</td></tr> <tr><td>⑦亀久保西分館</td><td>32件</td><td>307人</td></tr> <tr><td>⑧江川分館</td><td>310件</td><td>3,514人</td></tr> <tr><td>⑨学園分館</td><td>99件</td><td>994人</td></tr> <tr><td>⑩三保野分館</td><td>91件</td><td>733人</td></tr> <tr><td>⑪武蔵野分館</td><td>55件</td><td>722人</td></tr> <tr><td>⑫亀居分館</td><td>253件</td><td>2,780人</td></tr> <tr><td>⑬原分館</td><td>34件</td><td>266人</td></tr> <tr><td>⑭緑ヶ丘分館</td><td>185件</td><td>2,764人</td></tr> <tr><td>⑮八丁分館</td><td>11件</td><td>85人</td></tr> <tr><td>⑯赤土原分館</td><td>141件</td><td>1,058人</td></tr> <tr><td>⑰亀久保南分館</td><td>48件</td><td>387人</td></tr> <tr><td>⑱ふじみ野分館</td><td>154件</td><td>1,582人</td></tr> </table>	①旭分館	77件	440人	②大井分館	131件	1,672人	③苗間分館	144件	1,861人	④亀久保分館	211件	1,631人	⑤鶴ヶ岡分館	283件	3,514人	⑥三角分館	10件	150人	⑦亀久保西分館	32件	307人	⑧江川分館	310件	3,514人	⑨学園分館	99件	994人	⑩三保野分館	91件	733人	⑪武蔵野分館	55件	722人	⑫亀居分館	253件	2,780人	⑬原分館	34件	266人	⑭緑ヶ丘分館	185件	2,764人	⑮八丁分館	11件	85人	⑯赤土原分館	141件	1,058人	⑰亀久保南分館	48件	387人	⑱ふじみ野分館	154件
①旭分館	77件	440人																																																				
②大井分館	131件	1,672人																																																				
③苗間分館	144件	1,861人																																																				
④亀久保分館	211件	1,631人																																																				
⑤鶴ヶ岡分館	283件	3,514人																																																				
⑥三角分館	10件	150人																																																				
⑦亀久保西分館	32件	307人																																																				
⑧江川分館	310件	3,514人																																																				
⑨学園分館	99件	994人																																																				
⑩三保野分館	91件	733人																																																				
⑪武蔵野分館	55件	722人																																																				
⑫亀居分館	253件	2,780人																																																				
⑬原分館	34件	266人																																																				
⑭緑ヶ丘分館	185件	2,764人																																																				
⑮八丁分館	11件	85人																																																				
⑯赤土原分館	141件	1,058人																																																				
⑰亀久保南分館	48件	387人																																																				
⑱ふじみ野分館	154件	1,582人																																																				

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	社会教育法に基づき公民館を運営し、施設の維持管理に努め、安心して学習できる施設を提供していく。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市民文化祭事業（おおい会場）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 大井中央公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和3年4月22日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	一般市民を対象に、地域文化の発展と創造のための文化活動の機会を提供する。			
	事務事業の経緯	平成17年の合併から第1回ふじみ野市民文化祭として行われ、平成18年からは【おおい会場】、【かみふくおか会場】として実施されてきた。令和2年度から上福岡公民館が、令和3年度から大井中央公民館が工事で使用できなくなるため、実行委員会を統合する検討委員会を立ち上げ、準備を開始した。			
	事務事業の概要	毎年10月から11月にかけての文化祭は9部門に分かれ、各部門の準備会で役員を選出し、その役員によって実行委員会を組織し、委託事業として実施している。			
	令和2年度の主な取組	第16回市民文化祭おおい会場では、9部門【子どもフェスティバル、作品展示部門、芸能祭部門（邦舞・洋舞・カラオケ）、音楽祭部門、大会部門、子ども劇場、青年祭）の実施予定であったが、令和元年度参加団体に電話や面談によるアンケートを実施し、そのアンケート結果を検討委員会、公民館運営審議会で見解を仰ぎ中止とした。			

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.70	0.39	1.70
		人件費	5,585	3,143	13,697
	再任用職員	従事人数(人)	0.30	0.20	0.70
		人件費	1,154	1,061	3,711
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		6,739	4,204	17,408	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	1,615	0	3,537	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
支出合計		8,354	4,204	20,945	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		8,354	4,204	20,945	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		73	36	183	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民文化祭参加団体数		
	説明	文化祭に参加した団体数。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の点から、①不特定多数の人が来場されること ②新型コロナウイルスの影響による参加団体の準備が間に合わないなどを踏まえ、中止とした。 文化祭事業を一本化に集約したことにより、令和3年度の目標値を見直し、120から240に変更する。		
活動	単位	団体		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	120	120	240
	実績値	118	0	
指標 2	指標名	市民文化祭入場者数		
	説明	文化祭開催期間に来場した人数。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の点から、①不特定多数の人が来場されること ②新型コロナウイルスの影響による参加団体の準備が間に合わないなどを踏まえ、中止とした。 事業を一本化に集約したことにより、令和3年度の目標値を見直し、8,000から14,000に変更する。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	8,000	8,000	14,000
	実績値	7,584	0	
指標 3	指標名	西公民館まつりの参加者人数		
	説明	多くの市民が会場に訪れ多様な文化活動を体験する事により文化交流が図られるため成果指標としたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためため止むを得ず開催を中止したため、実績値は0となる。 文化祭事業を一本化に集約したことにより、令和3年度の目標値を見直し、0から1,200に変更する。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	1,200	1,200	1,200
	実績値	3,231	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>令和元年度まで〔おおい会場〕〔かみふくおか会場〕の各実行委員会が行っていた方式を、一つの実行委員会として行う市民文化祭とした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、開催の可否について判断する必要性が生じ、令和元年度参加した団体や役員などにアンケートを行い、議論をした。その結果、①不特定多数の人が来場されることによる感染拡大防止策が懸念されること②参加予定団体の準備が不確実なことなどから、中止とした。</p> <p>令和2年5月22日～6月10日 電話・面談アンケートを実施 7月10日 検討委員会開催 7月14日 公民館運営審議会にて意見聴収</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	一般市民及び公民館活動サークルが普段の活動の発表の場として、文化祭への参加をすることを目標に活動するとともに、見に来た人たちが興味を持ち、サークルに入り活動をするなどして文化の発展に寄与することができることから今後も継続して実施することが必要である。
中長期的方向性	令和3年度から大井中央公民館建て替え工事、またステラ・イーストホール棟についても令和5年度には建て替え工事が始まることから、一つの実行委員会として行う市民文化祭として統合した運営が求められる。
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		地域文化振興事業（大井中央）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 大井中央公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和3年4月22日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	地域文化の発展と創造のための文化活動の機会提供、魅力のある生の芸術等の鑑賞機会提供による地域文化に寄与する。			
	事務事業の経緯	昭和55年の大井中央公民館新築により大ホールが設置された当時から「舞台芸術鑑賞会」としてホールを利用した事業を開催している。また、6月から1月の毎月第2土曜日に「公民館サロン」として「大井寄席」を開催している他、平成28年度より市出身の落語家による「地元落語家応援寄席」も実施している。			
	事務事業の概要	ホールを活用した舞台芸術鑑賞事業（演劇・音楽）、視聴覚室を活用した公民館サロンを実施している。			
	令和2年度の主な取組	①舞台芸術鑑賞会：実行委員会方式による企画・運営で、和太鼓コンサートを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染防止対策により、実行委員会で意見を仰ぎ中止とした。 ②公民館サロン：集って鑑賞するのではなく、動画配信にて「大井寄席」を7回、地元落語家応援寄席を1回行った。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.50	0.55
		人件費	3,989	4,029	4,432
	再任用職員	従事人数(人)	0.15	0.20	0.40
		人件費	577	1,061	2,121
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,566	5,090	6,553	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	38	37	43	
	委託料	980	152	1,020	
	使用料及び賃借料	0	0	35	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	283	247	388		
支出合計		5,867	5,525	8,039	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	725	0	450
一般財源		5,142	5,525	7,589	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		45	48	66	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	舞台芸術鑑賞会入場者数		
	説明	舞台芸術鑑賞会の入場者数 令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の点から、不特定多数の人が来場し利用されることから中止とした。 開催会場の変更により、令和3年度の目標値を見直し、160から300に変更する。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	600	600	300
	実績値	549	0	
指標 2	指標名	公民館サロン入場者数		
	説明	公民館サロンとして実施している「大井寄席」「地元落語家応援寄席」（ともに落語）の入場者数（年8回実施） 令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の点から、不特定多数の人が来場し利用されることから中止とした。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	585	585	450
	実績値	504	0	
指標 3	指標名	再生回数		
	説明	公民館サロンとして実施している「大井寄席」「地元落語家応援寄席」（ともに落語）の動画配信再生回数（年8回実施） 令和2年度のみを集計のため令和元年度は目標値・実績値なし及び令和3年度の目標値はなし。		
成果	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	1,722	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【令和2年度地域文化振興事業について】 地域文化の発展と創造のための事業。魅力ある生の芸術を身近な場所、安い料金で気軽に鑑賞する機会となっている。併せて、芸術や文化を身近に感じて関心を持つきっかけづくりを図る。 (1) 舞台芸術鑑賞会 舞台芸術をより身近な場所で鑑賞する機会を設けるための事業。公募した委員による舞台芸術鑑賞会実行委員に事業実施を委託して企画・運営を行った。実行委員会方式での運営は、市民による事業実施能力を高めることにより市民自身の教育力を高める効果がある一方、公募実行委員が集まらない課題がある。 令和3年1月10日（日）午後2時開演 「和太鼓コンサート」 出演：和太鼓暁 令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、開催の可否について判断する必要性が生じ、実行委員会で議論をした結果、チケット販売前日に中止とした。 (2) 公民館サロン 令和2年度は、集う形式ではなく、動画配信にて実施。定期的に古典芸能に触れる機会を提供することにより、市民の文化的な知識・経験の向上を図っている。 ①大井寄席 令和2年9月12日（土）から令和3年2月26日（金） 二つ目の落語家による「大井寄席」を動画配信にて開催。再生回数：1,722回 ・令和2年8月26日（水）柳家緑太 再生回数390回 ・令和2年8月27日（木）三遊亭天歌 再生回数223回 ・令和2年10月13日（火）古今亭始 再生回数165回 ・令和2年10月15日（木）春風亭正太郎 再生回数209回 ・令和2年10月21日（水）柳家小んぶ 再生回数207回 ・令和2年10月22日（木）春風亭一蔵 再生回数162回 ・令和2年11月11日（水）春風亭一花 再生回数215回 ②地元落語家応援寄席 令和3年2月26日（金）～3月19日（金） 平成28年度より、地元出身の落語家を応援する事業を開催。 ・令和2年10月16日（金）立川志の太郎 再生回数151回
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	実行委員会方式の「舞台芸術鑑賞会」、開催が定着している「公民館サロン」とともに、公民館利用者に芸術を身近に感じて関心を高めてもらう格好の事業となっている。また、「公民館サロン」の「大井寄席」については、出演者自身の横のつながりを核とした継続的な実施が確保できることで、出演者間での「大井寄席」の評判や、高座の質の向上を維持する等、多方面に継続実施の効果が反映されている。今後も市民ニーズに合致した、質の高い芸術を鑑賞できる機会を提供できるよう事業に取り組んでいく。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		高齢者教育事業（大井中央）	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 大井中央公民館	評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和3年4月22日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者に公民館事業を通じて、学習の機会を提供し、生涯学習を支援する。		
	事務事業の経緯	これまで、大井中央公民館と上福岡公民館で「もくせい大学」・「ことぶき大学」をそれぞれ実施していたが、平成30年度に3館合同で準備委員会を設立し、事業を一本化し、内容を見直したうえで、令和元年度から3館合同の高齢者大学「昭和100年大学」を開講することとなった。		
	事務事業の概要	高齢者がいつまでも元気に社会参加し、豊かな人生を送ることができるよう幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を社会や地域に活かす事ができるように公民館が一本化して支援していく。 大井中央公民館がくらしの生活学部（くらし学科・生活の知識学科） 上福岡公民館が元気健康学部（健康のための教養学科・健康のための体育学科・健康のための声楽学科） 上福岡西公民館がくらしの中の芸術学部（くらしの中の陶芸学科・くらしの中の美術学科）をそれぞれ年間を通して開講している。また、各学部年2回「昭和100年大学」の受講生並びに市内在住者を対象に合同公開講座を開講している。		
	令和2年度の主な取組	①くらしの生活学部 くらし学科・生活の知識学科を5月から12月までの間に毎月1回（8月を除く）開設し実施する予定だったが、10月からの開校に変更し、全6回の講座を実施した。 5月から9月までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ②7月開催予定の合同公開講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.50	1.25
		人件費	3,192	4,029	10,072
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.50
		人件費	769	1,061	2,651
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,961	5,090	12,723	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	37	37	119	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	70	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	283	209	1,169		
支出合計		4,281	5,336	14,081	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		4,281	5,336	14,081	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		37	46	123	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	講座実施回数		
	説明	昭和100年大学で実施する講座の回数。 新型コロナウイルスの影響により、カリキュラムを変更し縮小して実施。 各公民館で行われていた高齢者事業を集約し一本化したことにより、令和3年度の目標値を見直し、13から58に変更する。		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	16	13	58
	実績値	13	6	
指標 2	指標名	出席率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、出席率も高くなる。受講者の満足度にもつながるため、活動指標とした。目標の80%を達成できなかったが、受講生からのアンケートを参考に令和3年度のカリキュラムに取り入れ、目標達成を目指す。		
活動	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	80	80	80
	実績値	72	64	
指標 3	指標名	応募率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、応募率も高くなり受講者の満足度にもつながるため、成果指標とした。前年同様の周知を図ったが、66%目標に届かなかったため令和3年度は広報を工夫し、目標達成を目指す。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	80	100	100
	実績値	49	34	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【令和2年度高齢者教育事業について】</p> <p>高齢者一人ひとりが生涯にわたって学ぶことにより、豊かな人生を送ることができるよう幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を地域づくりに活かすことができるよう支援する。 新型コロナウイルス感染防止対策により、縮小して実施。</p> <p>(1) 昭和100年大学くらしの生活学部くらし学科 月1回第2火曜日 10時～正午 定員60人（応募者20人） ① 6月9日 ② 9月8日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ③10月6日 参加者13人 ④11月10日 参加者10人 ⑤12月8日 参加者10人 全3回 年間延べ人数33人</p> <p>(2) 昭和100年大学くらしの生活学部生活の知識学科 月1回第4木曜日 10時～正午 定員60人（応募者21人） ① 6月25日 ② 9月24日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ③10月15日 参加者15人 ④11月26日 参加者 17人 ⑤12月24日 参加者14人 全3回 年間延べ人数46人</p> <p>昭和100年大学全学部学科の受講生並びに受講生以外の市内在住在勤の一般市民を対象として講座を行う。</p> <p>(3) 昭和100年大学 合同公開講座 年1回 10時～正午 定員600人 ①7月14日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	昭和100年大学の対象となる60歳以上の高齢者の市人口に占める割合は30.1%（令和2年10月1日現在）と昨年同時期より0.3ポイント上昇しているが、依然として人口の約3割を占めている。また、大井中央公民館区では28.7%となっている。超高齢化社会を背景に、高齢者の健康維持や居場所づくり、生きがいづくり、又地域のコミュニティ育成に貢献する事業であるとともに、高齢者の学習意欲を満たし、心身ともに豊かな生活の実現を目的とする、現代社会に必須の事業であるため、今後も参加対象者のニーズを把握した学習機会の提供に取り組む。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	青少年教育事業（大井中央）		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課	教育部 大井中央公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間	平成17年度～		評価日	令和3年4月22日
個別計画 根拠法令・条例等	社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	子どもたちが多様な学びを経験する機会を得ることにより、郷土を愛する手立てとなることを目的とする。		
	事務事業の経緯	学校週5日制対応事業として小・中学生を対象に事業を開設。子どもたちが地域の中で健全かつ心豊かな人間関係を育むための学習機会の提供を目的に、公民館利用団体と連携した各種教室や文京学院大学等と連携した野外活動体験等、各種プログラムを企画実施し、市民より好評を博してきた。平成30年度は6教室を毎月定期的に開催、夏休みには親子チャレンジ教室を実施している。		
	事務事業の概要	小・中学生を対象に、手話・和太鼓・合唱・茶道・将棋・陶芸・硬筆と筆ペン・リズム体操・あそびの教室の9教室を開設している。また、夏休みには親子チャレンジ教室を実施している。		
	令和2年度の主な取組	新型コロナウイルス感染防止対策により、子どもの城・夏休み親子チャレンジ教室は中止とし、代替事業を行った。 ①読書と手遊び：上福岡図書館と共催で動画配信での事業を開催。 ②冬の親子チャレンジ教室：「凧づくり」教室を12月に開催。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.40	1.40
		人件費	3,192	3,223	11,280
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.60
		人件費	769	1,061	3,181
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.85
	人件費	0	0	2,225	
人件費計		3,961	4,284	16,686	
事業費	報酬※	0	0	1,618	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	24	24	72	
	委託料	0	0	274	
	使用料及び賃借料	0	0	360	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	522	12	1,705		
支出合計		4,507	4,320	18,490	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	5
一般財源		4,507	4,320	18,485	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		39	37	161	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	教室開催回数		
	説明	教室数や内容等、時代のニーズに合致した事業の展開が把握できるため活動指標とした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため教室が中止になったが、代替・縮小をしての教室を実施したため令和元年度より減少した。各公民館で行われていた青少年事業を集約し一本化したことにより令和3年度の目標値を見直し、70から82に変更する。		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	93	93	82
	実績値	71	2	
指標 2	指標名	応募率（募集人数／応募者数）		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、応募率も高くなり受講者の満足度につながるため成果指標とした。目標の100%を達成できなかったが、受講生からのアンケートを参考に令和3年度の教室に取り入れ、目標達成を目指す。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	100	100	100
	実績値	123	83	
指標 3	指標名	再生回数		
	説明	視聴者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、再生回数も多くなり視聴者の満足度につながるため成果指標とした。令和2年度のみ集計のため令和元年度は目標値・実績値なし及び令和3年度の目標値なし。		
成果	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	5,075	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【令和2年度青少年教育事業について】</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策に基づく、利用制限等の措置の影響、学校行事等の把握が困難であること、参加者及び来場者の健康と安全の確保を優先しなければならない等、総合的に判断し中止の決定をした。代替事業として、小学生の親子を対象として、ステイホーム等による心身のリラックスと健康の維持を図るとともに親子で楽しんでいただき、家庭生活における親子関係の安定と読書に興味を上げられるように動画配信での読書と手遊びを実施。また、親子で参加しやすい土曜日に冬の親子チャレンジ教室を開催した。</p> <p>(1) お家で楽しもう！読書と手遊び（上福岡図書館との共催事業） 令和2年度は動画配信により実施。動画配信令和2年10月30日～令和3年3月31日 再生回数5,075回</p> <p>(2) 冬の親子チャレンジ教室 「親子で凧づくり」 令和2年12月19日（土）午後1時～3時30分（小学生親子5組）10人 講師：武蔵大井凧の会 松竹勝彦氏</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>「子どもの城」は、対象となる小・中学生の学校、年齢を超えた交流をベースに高い学習効果を生み出すとともに、講師をボランティア的に務めている公民館利用者のモチベーションアップにつながるものとして、公民館のみならず市民の教育力の向上につながる重要な価値を持つ事業である。また、事業実施の過程で学習成果の発表の場（市民文化祭など）を設け、受講者の家族等と意思の疎通を図ることができるなど、さまざまな可能性を持つ事業となっている。</p>
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		成人教育事業（大井中央）	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 大井中央公民館	評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和3年4月22日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	地域課題や生活課題の学習とともに、さまざまな体験を重ねることで、心身ともに充足し、住んで良かったといえる地域づくりを目指す。		
	事務事業の経緯	昭和48年度の「大井町公民館年間計画」ですでに「青少年教育の充実」や「芸術文化活動の高揚」などとともに「成人教育の充実」が掲げられ、「家庭教育学級」や「文化講座」などが実施されている。基本とする目的を押さえつつ、その時代の課題に応じた内容の事業を行い現在に至っている。		
	事務事業の概要	地域分館コミュニティ事業、子育て講座、趣味講座、人権講座、日本語教室		
	令和2年度の主な取組	成人教育の充実を目的に、地域分館コミュニティ事業（1回）、子育て講座（1回）、趣味講座（全7回）など、市民ニーズに合致した魅力ある講座を開催。 新型コロナウイルス感染防止の観点から、人権講座、日本語教室はボランティアスタッフと相談し中止とした。		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.40	0.91
		人件費	3,989	3,223	7,332
	再任用職員	従事人数(人)	0.15	0.20	0.80
		人件費	577	1,061	4,241
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,566	4,284	11,573	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	23	22	160	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	258	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	102	111	1,239		
支出合計		4,691	4,417	13,230	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		4,691	4,417	13,230	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		41	38	115	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	講座回数		
	説明	多様な講座が開催されることで、対象者の趣味や生活パターンに応じた受講の機会が増えるため活動指標とした。令和元年度同様の周知を図ったが、55%目標に届かなかったため令和3年度は広報の工夫をし、目標達成を目指す。事業の一本化により令和3年度の目標値を見直し、20から223に変更する。		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	20	20	223
	実績値	7	9	
指標 2	指標名	応募率（募集人数／応募者数）		
	説明	受講者のニーズに合致し魅力的な講座であれば応募率も高くなり満足度につながるため成果指標とした。令和元年度同様の周知を図ったが、40%目標に届かなかったため令和3年度は広報の工夫をし、目標達成を目指す。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	100	100	100
	実績値	59	60	
指標 3	指標名	再生回数		
	説明	時代のニーズに合致し魅力的な動画配信であれば視聴者の満足度につながるため成果指標とした。令和2年度のみを集計のため令和元年度は目標値・実績値なし及び令和3年度の目標値なし。		
成果	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	11,254	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【令和2年度成人教育事業について】</p> <p>(1) 地域分館コミュニティ事業 武蔵野の歴史や文化等の調査研究に取り組んでいる「おらほう来ねか大井郷」と共同で、高齢化社会に向けての取組みを目的とした学習会を開催。参加者数：22人</p> <p>(2) 子育て講座 令和2年12月22日火曜日午前10時30分～11時30分 子育て中のお母さん、お父さんの悩みを解決するヒントを得たり、より良い家族関係を築くための親子のふれあい学習の場となる講座を開催。 参加者数：満2歳から～就学前の子と親、3組6人 講師：上野台・大井子育て支援センター職員</p> <p>(3) 趣味講座 令和2年10月15日～令和3年3月31日 動画配信 再生回数11,254回 公民館利用団体の協力を得て、市ホームページで動画配信を行った。子どもから高齢者まで幅広く視聴を可能とすることで、ホームステイなどにより心身ともにストレスを抱えている市民向けに家庭でできる心身のリラクセスと健康維持、趣味等につなげられるように実施。</p> <p>①お家でできる陶芸 大井陶芸同好会 再生回数974回 ②手作りの絵手紙を出そう 新婦人絵手紙サークル 再生回数1,236回 ③手作りの新聞ちぎり絵手紙を出そう 新婦人ちぎり絵サークル 再生回数1,086回 ④お家でできるヨガ エンジェルス 再生回数5,264回 ⑤ゴーヤ料理教室 カイエー薬局グループこま薬局 再生回数603回 ⑥お家でやろう！リズム体操 スマイル 再生回数1,686回 ⑦美味しい花梨ジャムを作ろう 入間東部福祉会おおい作業所「喫茶おおい」再生回数405回</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	学習や交流の機会を求めている市民に、その機会を提供することは公民館の大きな役割である。市民ニーズは多様であり、それらを的確に捉え学習機会を提供することにより市民全体の教育力向上につながるものとして、今後も継続して実施していく。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		上福岡公民館管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和3年4月22日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	利用しやすい公民館を目指し、効率的な管理運営と適切な施設の維持管理に努めるとともに、市民の自主的な学習活動の一層の発展に資する。			
	事務事業の経緯	昭和54年上福岡公民館開館以来、事務事業の目的達成のため、安全で安心して学習できる施設の維持・管理に努めている。			
	事務事業の概要	社会教育法第20条及び第21条第1項の規定に基づき、公民館を運営すると共に、地域の拠点とし活用するため、施設の維持管理と運営を行う。			
	令和2年度の主な取組	大規模改修に伴い当該施設が1年間休館しているため、代替施設（ふれあいプラザかみふくおか）の貸出及び他の公民館等の利用可能施設への案内を行った。また、大規模改修後に開館する「ふじみ野ステラ・イースト」の予約受付及び貸出準備をした。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.50	0.00
		人件費	3,989	4,029	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	2.13	1.48	0.00
	人件費	2,832	3,073	0	
人件費計		6,821	7,102	0	
事業費	報酬※	0	2,584	0	
	賃金※	3,110	0	0	
	需用費	497	42	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	104	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	890	777	0		
支出合計		8,486	7,534	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	25	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	4	0	0
一般財源		8,457	7,534	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		74	65	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公民館利用者延べ人数		
	説明	大規模改修工事により貸出休止中。令和3年4月から文化スポーツ振興課所管施設の「ふじみ野ステラ・イースト」として貸出再開予定。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	30,000	0	0
	実績値	26,720	0	
指標 2	指標名	施設利用率		
	説明	大規模改修工事により貸出休止中。令和3年4月から文化スポーツ振興課所管施設の「ふじみ野ステラ・イースト」として貸出再開予定。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	50.00	0.00	0.00
	実績値	49.00	0.00	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>◆上福岡公民館の概要 【定員】ホール 100人／和室 50人／実習室 40人／音楽室 20人／学習室 30人 合計240人 【施設提供】 年間を通じて各種の教室や講座、展示会を開催しているほか、サークルやグループに活動の場を提供している。 【開館時間】 午前9時～午後10時</p> <p>令和2年度 大規模改修により休館</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
完了	大規模改修が終了し、令和3年4月から文化スポーツ振興課所管施設の「ふじみ野ステラ・イースト」として貸出再開となる。
中長期的方向性	
完了	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		地域文化振興事業（上福岡）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和3年4月22日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	地域住民の実際生活に即した教育、学術及び文化に関する事業を行い、より地域社会に密着した文化を築き上げていく。			
	事務事業の経緯	囲碁将棋大会は昭和47年から開催。公民館館外協力員連絡会は分館廃止の替わりの地域活動として平成16年度から実施。春の音楽会は平成14年度から実施。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民により優れた音楽を提供するため、公民館利用団体等の協力を得ながら、オータムコンサートや春コンサートを実施。 ・日頃のサークル活動の実践の場、交流する場を提供することを目的に囲碁将棋大会を実施。 ・館外協力員連絡会の廃止に伴い、地域出前講座を開催。 			
	令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・春コンサート及び子ども将棋オセロ大会については、公民館大規模改修工事のため、令和2年度は休止。 ・日本の伝統文化に触れてもらうため、落語会を開催。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.29	0.00
		人件費	2,394	2,337	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.10	0.00
		人件費	385	531	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,779	2,868	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	11	10	0	
	委託料	162	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	65	65	0	
支出合計		3,017	2,943	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,017	2,943	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		26	25	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	参加者数（公民館館外協力員全体事業参加者数）		
	説明	事業実施に対する、延べ参加者数。令和元年度をもって廃止。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	660	0	0
	実績値	525	0	
指標 2	指標名	来場者数（春の音楽会）		
	説明	事業実施に対する、延べ参加者数。令和2年度は休止。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	500	0	500
	実績値	0	0	
指標 3	指標名	応募者数（囲碁将棋・オセロ大会応募者数）		
	説明	事業実施の応募者数。令和2年度は休止。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	130	0	130
	実績値	156	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>地域文化の醸成を図ることを目的に、様々なジャンルの事業を実施することとした。多くの参加を促すため、市報や広報掲示板などの広報活動を行うとともに、公民館利用者への案内を行うなど、積極的に参加を促した。今年度は大規模改修工事のため、主に上福岡西公民館において活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域出前講座…令和元年度をもって廃止した館外協力員連絡会に代わる事業として行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響により講師依頼、会場の確保などが困難であったことから未実施。 ・オータムコンサート及び春コンサート…大規模改修工事のため、会場確保が困難であったことから休止。 ・新春落語会…令和3年1月22日（金） 入場者数 35人（申込者数 40人） 上福岡地区においては、落語を楽しんでもらう機会が少ないので、実施回数を増やすことを考えていく必要がある。 ・子ども将棋オセロ大会…大規模改修工事のため、会場確保が困難であったことから休止。 ・囲碁将棋大会（一般）…大規模改修工事のため、会場確保が困難であったことから休止。
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>地域における学習機会の提供や地域活動を支援することにより、地域コミュニティの形成や地域課題に対応した学習の展開をすることが出来ることから、今後も事業の継続は必要である。</p> <p>また、音楽系事業については、文化・スポーツ振興課が中心となって文化事業の振興を図っていくことで、随時協力をしていく。囲碁将棋オセロ大会については、ステラ・イーストを会場として令和3年度以降も実施していく。</p>
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		青少年教育事業（上福岡）	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 上福岡公民館	評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和3年4月22日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	豊かな地域社会の創造発展を図るため、青少年を対象とした生涯学習を展開する。		
	事務事業の経緯	子どもまつりは、文化祭の中に子どもの参加するコーナーとしてあったものを独立し、昭和51年から開催している。ふくっ子クラブは、平成8年度から開催。小学3年生公民館体験教室は平成12年から公民館利用団体の協力で開催。はとぼっぼ教室は3歳児の親子の教室として昭和56年度から開催。		
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもまつり ・ふくっ子クラブ ・小学3年生公民館体験教室 ・はとぼっぼ教室 ・家庭教育セミナー 		
	令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもまつりは、大規模改修工事実施による会場の確保が困難であったため、休止。 ・ふくっ子クラブを5月開始を10月開始に変更し全6回開催。 ・小学3年生体験教室は緊急事態宣言発令により、学校と相談し中止。 ・はとぼっぼ教室を春の教室を冬開催に変更し、秋と冬の2期、各6回開催。 ・家庭教育セミナーを11月に全4回開催。 		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.40	0.00
		人件費	2,394	3,223	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.10	0.00
		人件費	0	531	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,394	3,754	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	16	10	0	
	委託料	274	0	0	
	使用料及び賃借料	0	11	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	536	421	0		
支出合計		3,220	4,195	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,220	4,195	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		28	36	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	教室開催回数		
	説明	教室の実施回数。小学3年生体験教室については、緊急事態宣言発令の5月開催予定であったため中止。また、ふくっ子クラブについては開催回数を10回から6回に縮小して10月から内容を変更して実施。		
活動	単位	0		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	25	28	28
	実績値	29	22	
指標 2	指標名	事業応募率（ふくっ子クラブ事業応募率）		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、応募率も高くなる。受講者の満足度につながるため成果指標とした。新型コロナウイルスの影響により、感染の危険を考慮し、応募を控える人が多くいたことが原因と考える。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	100	100	100
	実績値	169	75	
指標 3	指標名	事業応募率（はとぼっぼ教室事業応募率）		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、応募率も高くなる。受講者の満足度につながるため成果指標とした。（令和2年度は募集を各回10組に減らしての実施。令和元年度以前は各回20組の募集）		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	100	100	100
	実績値	80	115	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>(1)子どもまつり 公民館大規模改修工事実施のため、令和2年度については休止。</p> <p>(2)ふくっ子クラブ 5月～2月までの間に全10回を予定していたが、10月からの開催に縮小 全6回の実施。延べ124人参加。小学1～6年生による異年齢集団による活動を行い、様々な遊びや活動を通して仲間を大切に、尊重し合える人間関係を作ること目的とした事業を展開することができた。</p> <p>(3)小学3年生体験教室 5月に開催を予定していたが、緊急事態宣言が発令されたことにより、中止。</p> <p>(4)はとぼっぼ教室 春の開催を冬に変更し、募集人員を20組から10組に縮小し、秋と冬の2期、各6回開催し、延べ206人参加。</p> <p>3歳児を対象に遊びをとおして親子の触れ合いを身に着け、生き生きと育児・生活をしようという家庭教育を行った。また、参加者同士のつながりもあり、子育てをしている親同士の仲間作りにも寄与できた。</p> <p>(5)家庭教育セミナー 全4回、7人が参加。</p> <p>令和元年度から開始した事業であり、小学校入学前の親を対象に実施。令和元年度の反省を活かし、開催時期を年明けから11月に変更して開催したが、参加者が少なかった。新型コロナ感染拡大の影響によるものと考えられるが、検証することは必要である。しかしながら就学前の大事な事業として、令和3年度も継続して実施をしていく。</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	生涯学習の一環として、事業展開をしているが、社会ニーズに即した事業の展開を検討する必要がある。また、令和3年度はステラ・イーストを中心に事業展開を進めていくが、将来的には上福岡西公民館実施事業との統廃合について検討していくことが必要。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	市民文化祭事業（かみふくおか会場）		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課	教育部 上福岡公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間	平成17年度～		評価日	令和3年4月22日
個別計画 根拠法令・条例等	社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	団体、サークルや市民個人をも含め学習活動の成果発表の場として、また、市民の手作りによる優れた作品や芸術の鑑賞の場として、文化活動の中心となるものである。		
	事務事業の経緯	昭和37年から続けられてきた市民文化祭は実行委員会を組織し実施されており、合併時の平成17年は第1回ふじみ野市文化祭として行われたが、平成18年からは「おい会場」、[かみふくおか会場]として実施されてきた。令和2年度から上福岡公民館が、令和3年度から大井中央公民館が工事のため使用できなくなるため、実行委員会を統合する検討委員会を立ち上げ、準備を開始した。		
	事務事業の概要	公民館等の全施設を活用し、作品展示・芸能発表・音楽祭・講演などの発表を実施。		
	令和2年度の主な取組	第16回市民文化祭おい会場では、9部門【子どもフェスティバル、作品展示部門、芸能祭部門（邦舞・洋舞・カラオケ）、音楽祭部門、大会部門、子ども劇場、青年祭）の実施予定であったが、令和元年度参加団体に電話や面談によるアンケートを実施し、そのアンケート結果を検討委員会、公民館運営審議会で見解を仰ぎ中止とした。		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.30	0.00
		人件費	2,394	2,418	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.30	0.00
		人件費	769	1,591	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	3,163	4,009	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	1,492	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
	支出合計	4,655	4,009	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	4,655	4,009	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		41	34	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民文化祭参加団体数		
	説明	文化祭に参加した団体数。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の点から、①不特定多数の人が来場されること ②新型コロナウイルスの影響による参加団体の準備が間に合わないなどを踏まえ、中止とした。		
活動	単位	団体		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	120	120	120
	実績値	108	0	
指標 2	指標名	市民文化祭入場者数		
	説明	文化祭開催期間に来場した人数。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の点から、①不特定多数の人が来場されること ②新型コロナウイルスの影響による参加団体の準備が間に合わないなどを踏まえ、中止とした。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	6,000	6,000	6,000
	実績値	5,280	0	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>令和元年度まで「おい会場」「かみふくおか会場」の各実行委員会が行っていた方式を、1つの実行委員会として行う市民文化祭とした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、開催の可否について判断する必要性が生じ、昨年参加した団体や役員などにアンケートを行い、それを基に議論を行った。その結果、①不特定多数の人が来場されることによる感染拡大防止策が懸念されること②参加予定団体の準備が不確実なことなどから、中止とした。</p> <p>令和3年5月22日～6月10日 電話・面談アンケート実施 7月10日 検討委員会開催 7月14日 公民館運営審議会にて意見徴集</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>一般市民及び公民館活動サークルが普段の活動の発表の場として、文化祭への参加をすることを目標に活動するとともに、見に来た人たちが興味を持ち、サークルに入り活動をするなどして文化の発展に寄与することができることから今後も継続して実施をすることが必要である。</p> <p>令和3年度から大井中央公民館建て替え工事、またステラ・イーストホール棟についても令和5年度には建替え工事が始まることから、一つの実行委員会として行う市民文化祭として統合した運営が求められる。</p>
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		高齢者教育事業（上福岡）	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 上福岡公民館	評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成18年度～	評価日	令和3年4月22日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者に公民館事業を通じて、学習の機会を提供し、高齢者の生涯学習を支援する。		
	事務事業の経緯	これまで、大井中央公民館と上福岡公民館で「もくせい大学」・「ことぶき大学」をそれぞれ実施していたが、平成30年度に3館合同で準備委員会を設立し、事業を一本化し、内容を見直したうえで、令和元年度から3館合同の高齢者大学「昭和100年大学」を開講することとなった。		
	事務事業の概要	高齢者がいつまでも元気に社会参加し、豊かな人生を送ることができるよう幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を社会や地域に活かす事ができるように公民館が一本化して支援して行く。大井中央公民館がくらしの生活学部（くらし学科・生活の知識学科）上福岡公民館が元気健康学部（健康のための教養学科・健康のための体育学科・健康のための声楽学科）上福岡西公民館がくらしの中の芸術学部（くらしの中の陶芸学科・くらしの中の美術学科）をそれぞれ年間を通して開講している。また、各学部年2回「昭和100年大学」の受講生並びに市内在住在勤者を対象に合同公開講座を開講している。		
	令和2年度の主な取組	①元気健康学部 健康のための教養学科・健康のための体育学科・健康のための声楽学科を6月～3月までの間に毎月1回（8月、1月、2月を除く）開催する予定だったが、10月からの開校に変更し、全18回の講座を実施した。 ②7月・2月（年2回）開催予定の合同・公開講座を中止とした。		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.30	0.20	0.00
		人件費	10,372	1,612	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.30	0.30	0.00
		人件費	1,154	1,591	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		11,526	3,203	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	23	19	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	6	6	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	273	195	0		
支出合計		11,828	3,423	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		11,828	3,423	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		103	29	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	講座実施回数		
	説明	昭和100年大学で実施する講座の回数。 新型コロナウイルスの影響により、プログラムを変更し実施。		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	23	23	23
	実績値	20	18	
指標 2	指標名	出席率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、出席率も高くなる。受講者の満足度につながるため成果指標とした。(合同・公開講座を除く。)新型コロナウイルスの感染リスクを踏まえ、講座への参加を控える受講生が多く見受けられたと考えられる。		
活動	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	80	80	80
	実績値	81	55	
指標 3	指標名	応募率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、応募率も高くなる。受講者の満足度につながるため成果指標とした。新型コロナウイルスの影響により、応募を控える方が多くいたことによるものと考えられる。		
成果	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	100	100	100
	実績値	256	76	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>高齢者一人ひとりが生涯にわたって学ぶことにより、豊かな人生を送ることができるよう幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を地域づくりに活かすことができるように支援する。</p> <p>(1) 昭和100年大学元気健康学部「健康のための教養学科」 月1回第1火曜日午後2時～3時30分 定員60名(応募者39人) ①10月6日 参加者25人 ②11月10日 参加者20人 ③12月1日 参加者21人 ④1月26日 講師の都合により中止 ⑤2月16日 参加者23人 ⑥3月2日 参加者21人 全5回 年間延べ人数110人</p> <p>(2) 昭和100年大学元気健康学部「健康のための体育学科」 月1回第2木曜日午後1時30分～3時30分 定員50名(応募者39人) ①10月8日 参加者24人 ②11月12日 参加者26人 ③12月10日 参加者21人 ④1月14日 参加者16人 ⑤2月18日 参加者16人 ⑥3月11日 参加者21人 全6回 年間延べ人数124人</p> <p>(3) 昭和100年大学元気健康学部「健康のための声楽学科」 月1回第3火曜日午後1時30分～3時30分 定員40名(応募者36人) ①10月20日 参加者26人 ②11月17日 参加者24人 ③12月15日 参加者21人 ④1月14日 参加者14人 ⑤2月9日 参加者16人 ⑥3月9日 参加者20人 ⑦3月16日 参加者数20人 全7回 年間延べ人数141人</p> <p>(4) 昭和100年大学 合同・公開講座 年2回 午後1時30分～3時30分 定員598人 昭和100年大学全学部学科の受講生並びに受講生以外の市内在住の一般市民を対象とした講座。 ①7月30日 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止 ②2月16日 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止(規模を縮小して「健康のための教養学科」にて実施) ※元気健康学部3学科年間延べ18回 年間延べ人数375人</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	昭和100年大学の対象となる60歳以上の高齢者の市人口に占める割合は30.1%(令和2年10月1日現在)と昨年同時期より0.3ポイント上昇しており、依然として人口の約3割弱を占めている。超高齢化社会を背景に、高齢者の健康維持や居場所づくり、生きがいづくり、又地域のコミュニティ育成に貢献する事業であるとともに、高齢者の学習意欲を満ちし、心身ともに豊かな生活の実現を目的とする、現代社会に必須の事業であるため、今後も参加対象者のニーズを把握した学習機会の提供に取り組む。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		成人教育事業（上福岡）	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 上福岡公民館	評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和3年4月22日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	豊かな地域社会の創造発展を図るため、成人を対象とした生涯学習を展開する。		
	事務事業の経緯	公民館開館より行われてきた様々な一般向けの講座を成人教育事業として平成21年度から位置づけた。講座内容は年度によって様々である。		
	事務事業の概要	講座の開催 ・成人教育教室（3講座）		
	令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてのフルート教室1（前年度のフォローアップ教室）及び初めてのフルート教室2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ・大人の作法講座 講師の都合がつかなかったことにより中止。 ・人権・平和講座を1月27日から全3回実施 		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.20	0.00
		人件費	2,394	1,612	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.00
		人件費	769	1,061	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,163	2,673	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	26	24	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	146	30	0		
支出合計		3,335	2,727	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,335	2,727	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		29	23	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	講座実施回数		
	説明	講座の開催回数		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	25	25	23
	実績値	18	3	
指標 2	指標名	応募率		
	説明	令和元年度の目標値は、講座実施回数を指標としていたが、受講者の満足につながるため、応募率を成果指標とした。今回の応募率については、人権・平和講座のみ。		
成果	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	100	100	100
	実績値	100	100	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>年々公民館利用者が年々減少傾向にあり、さらに固定化、高齢化などの課題を解決するため、日頃公民館を利用したことのない方を対象に事業を計画していたが、楽器を使用する講座（2講座）については新型コロナウイルス感染防止の観点から中止とした。また、大人の趣味講座については、講師との調整がつかず、こちらも中止とした。人権・平和講座については、戦後70年以上が経過し、改めて平和について考えるきっかけづくり、また昨今問題となっている様々な人権問題について考えることを目的に実施した。</p> <p>・人権・平和講座を1月27日から全3回実施。 定員30人 応募30人 延べ人数64人</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	世代別にみた学習課題を展開し、新たな公民館利用者を増やすための学習として障がい者や外国人なども含めてその時代の課題や地域課題などに対応した学習を展開するため、市民ニーズを把握しながら事業を今後も継続して実施していく。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	上福岡西公民館管理運営事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課	教育部 上福岡西公民館	評価責任者	内田徳子	
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和3年4月22日	
個別計画 根拠法令・条例等	社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民が充実した環境で安心して学習できる場所を提供するため、施設・設備の安全管理を行う。		
	事務事業の経緯	市民の教養の向上、健康の増進、学術及び文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として各種の事業を行う上で、安全で安心して学習できる施設の維持管理・提供に努める。		
	事務事業の概要	生涯学習の場の提供及び施設の維持管理・運営を行う。		
	令和2年度の主な取組	上福岡西公民館は、昭和62年9月に開設され、今年で開館33年を迎える。公民館は、地域住民の交流の場、学習の場として利用できる教育施設である。また、豊かな生活に資するため、様々な講座や催しを開催している。 上福岡西公民館維持管理運営事業では、公民館を市民が充実した環境で安心して学習できる場を提供するため、施設・設備の安全管理を行っている。 令和2年度に実施した施設修繕は下記のとおりである。 * 調理室換気扇修繕、排水管つまり修繕、地下ホール音響設備修繕、荷物用昇降機雨水予防対応修繕等		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.50	1.50
		人件費	11,967	12,086
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	1.04	1.04
	人件費	1,685	1,663	
	人件費計	13,652	13,749	14,034
事業費	報酬※	0	1,641	1,919
	賃金※	1,678	0	0
	需用費	10,865	7,455	10,433
	委託料	18,943	19,371	21,120
	使用料及び賃借料	182	152	218
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	373	366	366	
	支出合計	44,007	41,071	46,142
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	312	1,539
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	30	28
	一般財源	43,665	39,504	44,224
	市民1人あたりの負担コスト(単位：円)	382	340	386

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公民館利用者延べ人数		
	説明	公民館を利用した延べ人数。公民館活動や事業など公民館が市民の活動の場となっているかの指標。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	65,100	70,000	70,000
	実績値	57,768	21,487	
指標 2	指標名	公民館の利用率		
	説明	施設が有効に利用されているかの指標。 ((利用区分数) ÷ (利用可能区分数)) × 100		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	55.00	55.00	55.00
	実績値	39.80	30.30	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	令和2年度に実施した施設修繕
	<p>* 修繕一覧</p> <p>2階女子トイレ和式便器フラッシュバルブ漏水等修繕、オーダーカーテン取替修繕、地下階掃除用流し水漏れ修繕、上福岡西公民館事務室内壁修繕、天井照明修繕（水銀灯からLEDへ）、各階掃除用流し水栓水漏れ修繕、1階男子トイレ内壁及び事務室内壁修繕、1F男子トイレ床修繕、荷物用昇降機かご上接点不良修繕、調理室換気扇修繕、喫茶「歩歩」外流し水栓スパウト取替等修繕、1階空調機械室ドレン管詰まり修繕、排水管つまり修繕、電動式移動観覧席シーケンサー用バッテリー交換修繕、カーテン修繕、地下ホール音響設備修繕、荷物用昇降機雨水予防対応修繕、外灯修繕、和室障子修繕、1階多目的トイレ足踏み洗浄ボタン部修繕、地下階多目的トイレ自動洗浄ユニット修繕</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	開館33年が経過していることから施設の老朽化が進んでいる中、大規模改修も視野に入れながら、施設の維持管理に努め、利用者が安全で安心して活動、学習できる施設を提供する。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	上福岡西公民館分室管理事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課	教育部 上福岡西公民館	評価責任者	内田徳子	
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和3年4月22日	
個別計画 根拠法令・条例等	社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民が充実した環境で安心して学習できる場を提供するために施設・設備の安全管理を行う。		
	事務事業の経緯	上福岡西公民館分室は昭和59年に、市内市民のために、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として開館し、現在に至っている。		
	事務事業の概要	生涯学習の場の提供及び施設の維持管理・運営を行う。		
	令和2年度の主な取組	上福岡西公民館分室維持管理事業では、分室を市民が充実した環境で安心して学習できる場を提供するために施設・設備の安全管理を行っている。 令和2年度に実施した修繕は次のとおりである。 * 修繕一覧 屋外掲示板取替修繕、1階ホール照明修繕、2階和室照明修繕		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.20	0.20
		人件費	1,596	1,612
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00
	人件費	0	0	
人件費計		1,596	1,612	1,612
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	432	539	514
	委託料	338	338	403
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	2	0	1	
支出合計		2,367	2,489	2,530
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	19
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	0
一般財源		2,367	2,470	2,509
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		21	21	22

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公民館分室利用者延べ人数		
	説明	分室を利用した延べ人数。分室が市民の活動の場となっているかの指標。 延べ利用者数		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	2,700	2,700	2,700
	実績値	2,206	503	
指標 2	指標名	分室利用率		
	説明	地域の公民館分室がどれだけ有効に利用されているの指標。 ((利用区分数) ÷ (利用可能区分数)) × 100		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	20.00	20.00	20.00
	実績値	14.30	6.80	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>令和2年度に実施した修繕</p> <p>* 修繕一覧 屋外掲示板取替修繕 1階ホール照明修繕 2階和室照明修繕</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	施設の維持管理に努め、利用者が安全で安心して活動、学習できる施設を提供する。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		西公民館まつり事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡西公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和3年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	①地域住民のふれあいの場として ②参加団体の連帯及び親睦と交流を図るため ③地域に開かれ、親しみのもてる公民館を目指す			
	事務事業の経緯	事業の目的のため西公民館創設以来継続して実施してきている。			
	事務事業の概要	近隣町内会、自治会、商店会、子ども会育成会、西公民館利用者懇談会などに参加を呼びかけ、実行委員会方式により実施している。			
	令和2年度の主な取組	西公民館まつりは開館以来、地域住民のふれあいの場として、参加団体の連帯及び親睦と交流を図るため、地域に開かれ、親しみのもてる公民館をめざすため実施している。 今年は33回目の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため止むを得ず開催を中止した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.69	0.00
		人件費	3,989	5,560	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.00
		人件費	769	1,061	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,758	6,621	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	322	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
支出合計		5,080	6,621	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		5,080	6,621	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		44	57	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	西公民館まつりの参加者人数		
	説明	多くの市民が会場に訪れ多様な文化活動を体験する事により文化交流が図れるため成果指標としたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため止むを得ず開催を中止したため、実績値は0となる。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	1,200	1,200	1,200
	実績値	3,231	0	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>西公民館まつりは、昭和62年開館以来、地域住民のふれあいの場として、参加団体の連帯及び親睦と交流を図るため実施している。また、公民館活動を多くの方に知ってもらうとともに、日頃の学習成果や取組みの発表の場、交流の場を提供し、地域の人たちの協力を得て継続している。</p> <p>中止した西公民館まつりの開催予定日 前夜祭 令和2年9月12日（土） 本祭 令和2年9月13日（日）</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	上福岡西公民館開館以来、地域住民のふれあいの場、また、公民館利用団体の学習成果発表の場として32回開催されており、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になったが、今後も地域の人達や団体の協力を得て、継続して行く必要がある。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		成人教育事業（上福岡西）	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 上福岡西公民館	評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和3年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	豊かな地域社会の創造発展を図るため、成人を対象とした生涯学習を展開する。		
	事務事業の経緯	昭和62年社会教育施設として西公民館が開設され、市民の生涯学習を進めるため成人を対象とした各種教室等を開催している。		
	事務事業の概要	障がい者青年学級「コスモスクラブ」 地域とそこに暮らす外国人との交流と学習のための「にほんご教室」「にほんごボランティア講座」 子育て世代の仲間づくりの場「家庭教育セミナー」「おんいく」 公民館講座「ウクレレ教室」「ジャズ・ポピュラーコンサート」「スマートフォン教室」 女性セミナー「ピラティス教室」「パッチワーク教室」「ラジオ体操」		
	令和2年度の主な取組	親子で楽しめる子育て講座「家庭教育セミナー」は、お母さんお父さんの悩みを少しでも解決できるよう、子育て事業の経験豊かな先生による子どもと共に学ぶ講座を開催し、心を豊かにする教室「女性セミナー」を併せて開催する。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.45	0.45	0.00
		人件費	3,591	3,626	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.45	0.45	0.00
		人件費	1,730	2,386	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		5,321	6,012	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	49	43	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	97	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	470	225	0		
支出合計		5,937	6,280	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		5,937	6,280	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		52	54	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	事業実施回数		
	説明	多様な講座が開催されることで、対象者の趣味や生活パターンに応じた受講の機会が増えるため、活動指標とした。		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	135	135	135
	実績値	121	19	
指標 2	指標名	応募率（募集人数／応募者数）		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な講座であれば応募率も高くなり、受講者の満足度につながるため、成果指標とした。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	107.00	107.00	107.00
	実績値	92.36	84.40	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者青年学級（コスモスくらぶ） ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として中止 定員なし ・にほんご教室 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として中止 ・にほんごボランティア養成講座 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として中止 ・公民館講座（ウクレレ教室）（全6回）参加者：述べ 89人 定員15人 応募15人（100.0%） ・公民館講座（ジャズ・ポピュラーコンサート）（1回）参加者：36人 定員40人 応募40人（100.0%） ・公民館講座（スマートフォン講座） ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として中止 応募47人 定員30人 ・公民館講座（ラジオ体操） 1回（10/1～3/31参加者：毎回20人程度 ・家庭教育セミナー「おんいく」(3回)参加者：述べ 48人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止 対策として開催時期、定員、対象等を変更して開催 定員10組20人 応募12組24人（120.0%） ・家庭教育セミナー「家庭料理教室」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として中止 ・女性セミナー「ピラティス教室」(4回)参加者：延べ 35人 定員10人 応募12人（120.0%） ・女性セミナー「パッチワーク教室」(4回)参加者：延べ 37人 定員10人 応募10人（100.0%）
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者青年学級は、40歳を越えている仲間も多く、ボランティアスタッフも高齢化のため、今後は新たな仲間の加入者やボランティアスタッフを増員していく。また、障がい者に対する地域理解を深めるため、地域の人たちとの交流を図りながら新たな活動内容を検討していく。 ・子育てへの不安や悩みを抱える若い世代を支援するため、親の学習機会や楽しい時間を過ごせる時間と場所を提供し仲間作りが出来るよう努めていく。
中長期的方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館で活動する団体、サークルの協力を仰ぎながら、地域住民の学習の機会を支援し、さらなる活性化を図るため、今後も事業を開催していく。
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		青少年教育事業（上福岡西）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡西公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和3年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	豊かな地域社会の創造発展を図るため、青少年を対象に学習を行う。			
	事務事業の経緯	昭和62年社会教育施設として西公民館が開設されて以来、市民の生涯学習を進めるため、青少年を対象とした各種教室等を開催している。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小学1年生から6年生までを対象とした年間事業「わんぱく教室」 ・公民館利用団体に参加を呼びかけ実施する「小学3年生公民館体験教室」 ・小学生を対象に多彩な各種教室を展開する「子どもひろば」 			
	令和2年度の主な取組	子どもひろばでは、地元で活躍しているダンス講師を招き、小学1年生から3年生を対象として、子ども達の成長に合わせて楽しく踊れる「キッズダンス教室」を開催した。 新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、「わんぱく教室」、「小学3年生公民館体験教室」は中止した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.35	0.65	0.00
		人件費	2,793	5,238	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.35	0.35	0.00
		人件費	1,346	1,856	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,139	7,094	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	24	22	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	232	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	204	63	0		
支出合計		4,599	7,179	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		4,599	7,179	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		40	62	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	事業実施回数		
	説明	教室や内容等、時代のニーズに合致した事業の展開が把握できるため、活動指標とした。		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	21	21	21
	実績値	14	4	
指標 2	指標名	応募率（募集人数／応募者数）		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な講座であれば応募率も高くなり、受講者の満足度につながるので、成果指標とした。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	100.00	100.00	100.00
	実績値	88.40	89.60	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>①小学3年生公民館体験教室 小学3年生を対象に“身近な地域の人々の生活を理解し地域社会の一員として自覚を育てる”というねらいを具体的に体験学習することを目的として開催している。 児童側は学校では体験できない地域の人たちとの交流や創造活動を学び、教諭側は普段見られない児童の表情を見ることができ、事業として定着してきたものである。 協力団体にとっても、地域に自分達の学習の成果を還元できる良い機会となっている事業で、たくさんの子どもが参加される教室だが、十分な新型コロナウイルス感染拡大防止対策が難しいことなどが考えられるため止むを得ず中止した。</p> <p>②子どもひろば (1)夏休み子どもひろば「染物教室（世界に一枚のハンカチ作り）」 世界に一つしかない素敵な藍染のハンカチをみんなで楽しく作成する教室だが、十分な新型コロナウイルス感染拡大防止対策が難しいことなどが考えられるため止むを得ず中止した。 (2)冬季子どもひろば「ギッズダンス教室」 今回は、小学1年生から3年生を対象として、子ども達の成長に合わせ楽しく踊れるダンス「ジャズダンス・ヒップホップダンス」とリズム体操を通して、ダンスの楽しさを体感した。 全4日 参加者（12人・延べ 43人）（定員15） 講師（1人）</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	各講座共に、公民館と協力スタッフ・公民館利用団体及び地域が一体となり、事業を企画し取り組みを進める。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	上福岡図書館管理運営事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 04図書館費			
所管部課	教育部 社会教育課	評価責任者	永倉秀雄	
事務事業期間	平成27年度～	評価日	令和3年4月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	図書館法、ふじみ野市図書館条例及びふじみ野市図書館条例施行規則、施設設備管理の関連法令			
事務事業の内容	事務事業の目的	上福岡図書館の運営を支えるため施設管理及びモニタリング、指導を行う。		
	事務事業の経緯	昭和53年に上福岡市立図書館設置条例制定。その後市民の図書館建設運動を経て平成6年現在地に市民要望と意見を取り入れて市民図書館が建設され、平成27年10月から指定管理者制度を導入して運営を行う。		
	事務事業の概要	平成27年度から続けている指定管理者による管理運営を維持・継続する。 平成5年度竣工、平成6年度開館の施設のため、空調機を中心に施設各所に老朽化等による劣化・不具合が生じているため、施設修繕を進める。		
	令和2年度の主な取組	令和2年度から大井図書館と一括した指定管理実施とモニタリングを行う。 ブックポストの受入保管スペースの雨漏り対応のため、代替として建物外に箱型ブックポストを設置した。 1階事務室の空調が不具合となり、労働環境の悪化防止のため緊急修繕を行った。 1階サーバー室の空調が故障し、図書館コンピュータシステムのサーバーは24時間空調管理が必要であるため、緊急修繕を行った。 全館的な施設修繕が必要なので、計画的な修繕に向けて、令和4年度以降の3か年実施計画にて要求して令和5年度以降の実施を目指す。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	1.00	2.00
		人件費	7,978	8,057	16,114
	再任用職員	従事人数(人)	1.00	0.00	0.00
		人件費	3,844	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	11,822	8,057	16,114	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	5,118	2,415	0	
	委託料	137,611	174,999	0	
	使用料及び賃借料	583	579	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	259	477	0	
	支出合計	155,393	186,527	16,114	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	69	67	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	54	228	0
	一般財源	155,270	186,232	16,114	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		1,357	1,602	141	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	貸出者数		
	説明	資料の貸出利用人数が身近な施設としての事業の成果を示す指標となる。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	165,000	167,000	249,000
	実績値	141,950	111,621	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>1 実績について</p> <p>(1) 大井図書館と一括した指定管理者による管理運営を開始し、モニタリングを行った。</p> <p>(2) 空調設備・雨漏りなどの施設修繕を行った。</p> <p>2 事業の効果について</p> <p>(1) 図書館サービスの維持・向上につながった。</p> <p>(2) 大井・上福岡両図書館の指定管理移行により民間活力導入の拡大を図ることができた。</p> <p>(3) 施設の適切な管理を図ることができた。</p> <p>(4) 会議室等の有料貸出開始により負担の公平化と受益者負担を図った。</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	ふじみ野市立図書館が「ミッション（使命）」とする「市民の暮らしが豊かになるよう、『知りたい、学びたい、楽しみたい』を支えます」を実現し、地域の情報拠点として市民の学びを支え、市民とともに歩む図書館を目指すために、次の事業が求められている。
中長期的方向性	1 指定管理者による管理運営の実施とモニタリングによる図書館サービスの維持。
継続	2 ボランティア・市民と協働した図書館事業の実施。
	3 小学校配置の学校図書館支援員を活用し、小中学校に導入した図書館システムパソコンを活用した図書館サービスの展開を図る。
	4 建築後25年以上経過している両図書館施設の適切な維持管理を図るために計画的改修を行う。
	5 大井図書館の（仮称）西地域文化施設への移転に向けて準備を行う。
	6 令和3年度から上福岡図書館・大井図書館を統合して「図書館管理運営事業」とする。

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	大井図書館管理運営事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 04図書館費			
所管部課	教育部 社会教育課	評価責任者	永倉秀雄	
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和3年4月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	図書館法、ふじみ野市図書館条例及びふじみ野市図書館条例施行規則、施設設備管理の関連法令			
事務事業の内容	事務事業の目的	大井図書館の運営を支えるため施設管理及びモニタリング、指導を行う。		
	事務事業の経緯	昭和48年に大井町立図書館設置条例制定。その後町民要望により昭和63年7月に現在地に開館し、令和2年度から指定管理者を導入して運営を行う。		
	事務事業の概要	令和2年度から開始した指定管理者による管理運営を維持・継続する。建設後30年以上が経過し、施設が老朽化しているため計画的な修繕等を行う。令和5年度開館予定の（仮称）西地域文化施設に移転し、施設の運営を行う。		
	令和2年度の主な取組	（事業内容） 1 図書館協議会を運営する。 2 上福岡図書館と一括した指定管理実施とモニタリングを行う。 3 （仮称）西地域文化施設への移転に向けて調査・計画作成を行う。		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	1.00	0.00
		人件費	7,978	8,057	0
	再任用職員	従事人数(人)	1.00	0.00	0.00
		人件費	3,844	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	11,822	8,057	0	
事業費	報酬※	78	56	107	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	5,699	58	65	
	委託料	12,525	106,481	284,275	
	使用料及び賃借料	7,597	9,034	9,609	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	47	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	537	60	274		
	支出合計	38,304	123,746	294,330	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	68
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	246	0	53
	一般財源	38,058	123,746	294,209	
	市民1人あたりの負担コスト(単位：円)	333	1,065	2,568	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	貸出者数		
	説明	資料の貸出利用人数が施設としての事業の成果を示す指標となる。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	81,000	82,000	0
	実績値	73,023	59,840	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>1 実績について</p> <p>(1) 図書館協議会会議を3回開催した。</p> <p>(2) 上福岡図書館と一括した指定管理者による管理運営を開始し、モニタリングを行った。</p> <p>(3) (仮称) 西地域文化施設への移転に向けて調査・計画作成を行った。</p> <p>2 事業の効果について</p> <p>(1) 図書館協議会を開催し、図書館サービスの向上と今後の図書館運営の計画策定を図れた。</p> <p>(2) 大井・上福岡両図書館の指定管理移行により民間活力導入の拡大を図ることができた。</p> <p>(3) (仮称) 西地域文化施設への移転の準備を行うことができた。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	ふじみ野市立図書館が「ミッション(使命)」とする「市民の暮らしが豊かになるよう、『知りたい、学びたい、楽しみたい』を支えます」を実現し、地域の情報拠点として市民の学びを支え、市民とともに歩む図書館を目指すために、次の事業が求められている。
中長期的方向性	1 指定管理者による管理運営の実施とモニタリングによる図書館サービスの維持。
継続	2 ボランティア・市民と協働した図書館事業の実施。
	3 小学校配置の学校図書館支援員を活用し、小中学校に導入した図書館システムパソコンを活用した図書館サービスの展開を図る。
	4 建築後25年以上経過している両図書館施設の適切な維持管理を図るために計画的改修を行う。
	5 大井図書館の(仮称)西地域文化施設への移転に向けて準備を行う。
	6 令和3年度から上福岡図書館・大井図書館を統合して「図書館管理運営事業」とする。

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	高齢者教育事業（上福岡西）		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課	教育部 上福岡西公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間	平成31年～		評価日	令和3年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等	社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者に公民館事業を通じて、学習の機会を提供し、生涯学習を支援する。		
	事務事業の経緯	これまで、大井中央公民館と上福岡公民館で「もくせい大学」・「ことぶき大学」をそれぞれ実施していたが、平成30年度に3館合同で準備委員会を設立し、事業を一本化し、内容を見直したうえで、令和元年度から3館合同の高齢者大学「昭和100年大学」を開講することとなった。		
	事務事業の概要	高齢者がいつまでも元気に社会参加し、豊かな人生を送ることができるよう幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を社会や地域に活かす事ができるように公民館が一本化して支援していく。 大井中央公民館がくらしの生活学部（くらし学科・生活の知識学科） 上福岡公民館が元気健康学部（健康のための教養学科・健康のための体育学科・健康のための声楽学科） 上福岡西公民館がくらしの中の芸術学部（くらしの中の陶芸学科・くらしの中の美術学科）をそれぞれ年間を通して開講している。また、各学部年1、2回程度の「昭和100年大学」の受講生並びに市内在住在勤者を対象に合同公開講座を開講している。		
	令和2年度の主な取組	①くらしの中の芸術学部 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当初予定の5月からを10月以降実施へ変更した。陶芸学科・美術学科を10月から2月に毎月1回か2回を開講し、計15回の事業を実施した。 ②合同公開講座は7月、2月に予定していたが新型コロナ拡大の影響を考慮し、中止した。		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.20	0.40	0.00
		人件費	1,596	3,223	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		1,596	3,223	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	45	45	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	201	192	0		
支出合計		1,842	3,460	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		1,842	3,460	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		16	30	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	上福岡西公民館で開催する講座への出席率		
	説明	受講生のニーズに合致した魅力的な講義内容であれば出席率が高くなる。		
活動	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	80.00	80.00	80.00
	実績値	81.10	88.80	
指標 2	指標名	応募率（募集人数／応募者数）		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば応募率も高くなり、受講者の満足度につながるので、成果指標とした。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	100.00	100.00	100.00
	実績値	126.90	65.60	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	昭和100年大学	くらしの中の芸術学部
	陶芸学科	定員16人（応募者14人） 10/7(水) 出席13人 10/14(水) 出席14人 11/4(水) 出席14人 11/18(水) 出席13人 12/2(水) 出席14人 12/9(水) 出席14人 1/20(水) 出席10人 2/10(水) 出席12人
	美術学科	定員16人（応募者7人）合計21人 10/21(水) 出席7人 11/18(水) 出席7人 12/16(水) 出席6人 1/20(水) 出席4人 2/3(水) 出席5人 2/17(水) 出席5人 3/3(水) 出席5人
	全8回 延べ計104人	全7回 延べ計39人
	くらしの中の芸術学部 合計延べ143人	
	アンケート結果	
	陶芸学科	
	①非常に良かった「55%」 ②良かった「45%」	
	美術学科	
	①非常に良かった「33.4%」 ②良かった「45%」 ③良くなかった「16.6%」	

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	高齢者社会が進む中で、高齢者一人ひとりが生涯にわたって学び、自己の知識や人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、学習の場を提供し、また、その学習の成果を適切に地域づくりに活かすことができるよう支援するため、今後も継続して行く必要がある。
中長期的方向性	
継続	